

日刊 動労千葉

85. 12. 30
No. 2130

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六)公衆(四七二)七二〇七

一年間きんりんを

86年、貨物職場は一切をかけた勝負をいどむ

新小岩支部 清水 匠

この一年間は、国鉄労働運動にとって本当に正念場の年でした。とりわけ、再建監理委員会での7・26答申以降、具体的・本格的な攻撃がはじまった年でもありません。動労千葉の11・28/29ストライキは「ヤミ・カラ」以来のこうした攻撃に対する本格的な反撃のはじまりです。「もう闘えない・首切りも止むを得ない」とする敗北主義をうち破り、本場に闘う気・ヤル気があれば闘えるということに全社会に指し示した という意味で非常に大きな意義のあるものでした。「スト参加者は解雇」とか、動労千葉への様々な誹謗中傷は敵の強さの表われでなく、追いつめられた悲鳴であり、労働者の闘いの決起への恐怖です。中曽根・当局・動労革マルなどの密集した反動をはねのけるとき国鉄労働者の闘いの爆発も不可避となります。

貨物職場は4人に3人の首切りが言われています。新貨物会社になったところで、2/3年のうちに倒産とも言われています。貨物職場にとって闘って勝利する以外にないのです。86年は、一切をかけた勝負の年です。不当処分をはねかえし、第二波・第三波をうちぬき、全国鉄労働者の総決起をかちとるため全力で闘いたいと思います。(支部書記長)

正義が勝つ時代

青年部 杉本則夫

「中曽根内閣打倒」のスローガンを、自分たちの手によって具体化してきたという実感がありません。

中曽根は、この一年、戦争のできる国家、侵略戦争を支持する国民づくりをすすめてきました。既成野党・労働運動は、何ひとつ有効な闘いを組織化できず、労働者人民のなかにあきらめと敗北感を植えつける役割を果たしていました。

こうしたなかで、私たちは今秋、10・20三里塚、11・28/29実力ストをたたきつけまし

「二四時向スト勝利万々」
二期決戦勝利・国鉄分割・民営化阻止・動労本部カクマルのテキーダち破り、中曽根打倒・戦争国家壊滅・粉砕！
不当なカイコ攻撃粉砕！
動労千葉ガンバレ！
一億円基金達成に全力を尽す！
共に闘おう！
勝利は我に有り！！
激寒の函館より。

動労千葉の組合員の皆様

動労千葉のストライキは一〇〇％正義の闘いです。一一〇〇名の組合員が一丸となってストを貫徹し、国鉄の分割・民営化阻止の第一波ストを勝ちとった偉大な闘い、私たち民間労働者をふるいたたせてくれました。

私自身、十一・二八、二九の支援集会に参加し、ピラを配ったりデモをしたのですが、若い女の子達が「がんばって！ 応援してます」と声をかけ手を握りピラを受け取ってくれました。デモ中にも若い男性やおばさんが手をふってくれるなど、熱いものがこみあげてきました。

私自身、中曽根打倒を勝ちとるべく、ここに決意表明します。
国鉄ゼネスト！ これこそ勝利の道です。国鉄スト基金一億円カンパも頑張っています。動労千葉の皆様。季節柄、お身体ご自愛下さい。
一九八五・十二・十八
(京都市在住の民間労働者の方より)

た。また、29日の朝には、ついに人民の怒りが大爆発するに至りました。

正義が勝つ時代。中曽根と対決する真の勢力として、無視できない存在として、一つの軸として、ついに歴史の舞台に登場するまでに成長したという自負と責任が私たちにはあります。ここまでするには、生活をかけ、首をかけ、人生をかけて決起した動労千葉をはじめとする無数の労働者魂、労働者階級の良心がありました。

追いつめられた中曽根は、ますます反動化するでしょう。よいではありませんか。正義を貫く闘いは絶対負けられないことを中曽根におもいしらせてやろうではありませんか。(青年部書記長)

国鉄千葉動力車労働組合

動労千葉の皆々様

私が三里塚闘争に日帝打倒の核心を見て主体的に参加して半年もしない頃、あの81・3ジェットストライキを貫徹した戦闘的な姿に感動し、どれほど心強く思ったことでしょうか。常に労働界をリードし、今また、労働者魂に燃え、奴隷になることをきっぱりと拒否し、人間としての解放を勝ちとるべく、あらゆる困難をうち破って敢然とストライキをうちぬかれた皆様には心の底から拍手し、今後のうち続く闘いへの士気が一層高まります。

全国の怒りに燃えた仲間にとってこれほどの強力な味方はないと、日帝打倒に続々と決起し始めています。動労千葉のストライキを突破口に後戻りの出来ない闘い、負けることのない闘い、勝つ以外のみちしかな闘いが始まりました。ピラを受け取る動労や国鉄の仲間が期待と確信を持ち始めていくのが解ります。

皆さんのすべてをかけた闘いに心を動かされたい人はいないと思えます。人間解放のため、共に闘いましょう。ガンバレ、動労千葉！！
(東京都中野区・Tさん)

激文

津田沼支部・千葉区支部を
先頭にいた動労千葉の組合員
みなさん
11.28-29 24時間ストライキの
徹底闘いをうけつとめ、
「分割・民営化」粉砕！2万4千人
の首切り阻止にむけ第2波外
の支援の闘いを強化し国鉄ゼ
ネストにもかて、動労千葉の
闘いに学び、勇気をもって決起
していきたいと思います。
共に勝利しよう。
国鉄大反・支部有志
分会有志

本号をもって今年の「日刊」の最終号といたします。本当に85年は最後の最後まで闘い一飛躍一充実の毎日でした。86年更にしぶとくたくましくなつて英気りんりん戦列につこうではありませんか。
「日刊」の発行は、次号を元旦号としてお届けしたあとは、一月六日(月)より通常発行体制にもどります。それでは、組合員・御家族の皆さん、全国の読者の皆さん、どうかよいお年を！
(『日刊』編集委員会一同)

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！